平成１９年１０月２２日

各　位

会 社 名　**株式会社日立物流**
代表者名　執行役社長　鈴 木 登 夫
（コード番号　９０８６　東証第１部）
問合せ先　総務・コミュニケーション本部
部長補佐　上 野 善 也
（TEL：03-5634-0307）
当社の親会社　株式会社 日立製作所
代表者名　執行役社長　古 川 一 夫

平成 20 年 3 月期中間期・通期 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 4 月 25 日の決算発表時に公表した平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正しますので、お知らせいたします。

記

１．平成 20 年 3 月期中間期業績予想数値の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日）

【 連　結 】

	売 上 高	営業利益	経常利益	中間純利益	1 株当たり中間純利益
前回発表予想（A） （平成 19 年 4 月 25 日発表）	百万円 160,000	百万円 5,700	百万円 5,800	百万円 3,100	円 銭 27.79
今回修正予想（B）	165,900	6,600	6,800	3,500	31.37
増 減 額（B－A）	5,900	900	1,000	400	3.58
増　減　率　（%）	3.7	15.8	17.2	12.9	12.9
（ご参考） 前期実績（平成 19 年 3 月期中間期）	148,061	5,649	5,741	2,925	26.22

【 個　別 】

	売 上 高	営業利益	経常利益	中間純利益	1 株当たり中間純利益
前回発表予想（A） （平成 19 年 4 月 25 日発表）	百万円 119,000	百万円 2,800	百万円 3,800	百万円 2,200	円 銭 19.72
今回修正予想（B）	120,500	3,600	4,700	2,900	26.00
増 減 額（B－A）	1,500	800	900	700	6.28
増　減　率　（%）	1.3	28.6	23.7	31.8	31.8
（ご参考） 前期実績（平成 19 年 3 月期中間期）	114,357	2,744	3,695	2,343	21.01

２．平成 20 年 3 月期通期業績予想数値の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

【 連　結 】

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回発表予想（A） （平成 19 年 4 月 25 日発表）	百万円 330,000	百万円 13,100	百万円 13,200	百万円 7,300	円 銭 65.44
今回修正予想（B）	333,000	13,400	13,500	7,400	66.34
増 減 額（B－A）	3,000	300	300	100	0.90
増　減　率　（%）	0.9	2.3	2.3	1.4	1.4
（ご参考） 前期実績（平成 19 年 3 月期）	303,958	11,746	12,168	6,787	60.84

【 個　別 】

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回発表予想（A） （平成 19 年 4 月 25 日発表）	百万円 244,000	百万円 6,800	百万円 8,200	百万円 4,900	円 銭 43.92
今回修正予想（B）	245,000	7,100	8,500	5,000	44.82
増 減 額（B－A）	1,000	300	300	100	0.90
増　減　率　（%）	0.4	4.4	3.7	2.0	2.0
（ご参考） 前期実績（平成 19 年 3 月期）	234,359	6,039	7,332	4,644	41.64

３．修正の理由

（1）中間期

当中間期の売上（連結・個別）は、システム物流事業の継続的な拡大や大口作業案件の受託などにより、前回発表した予想数値を上回る見込みとなりました。

利益（連結・個別）についても、売上増加に加え、システム物流事業の作業生産性向上や新規受託案件の円滑な立上げ、大口作業案件の効率的な作業運営等により、前回発表した予想数値を上回る見込みとなりました。

（2）通期

通期の売上（連結・個別）は、北米におけるテレビ関連事業の取扱物量減少の影響が懸念されるものの、システム物流事業は全体として引続き拡大する見通しで、前回発表した予想数値を上回る見込みとなりました。

利益（連結・個別）についても、テレビ関連事業の先行き不透明感や拠点拡充に伴う費用発生などが予想されるものの、売上拡大に加え、システム物流事業の作業生産性の向上などにより、前回発表した予想数値を上回る見込みとなりました。

以　上

（注）上記の予想値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因により異なる結果となることがあります。